

第2021回例会

6月2日(木)晴れ/12:30～13:30 [松魚亭]

1. 講話
金沢問屋センター理事長 高桑幸一 氏
「金沢問屋センターってどんなところ?～金沢流通会館の役割～」
2. 出欠
出席 36名 欠席 13名
出席率 78.26% ビジター 1名
3. 来訪者 (敬称略)
金沢東RC 高桑幸一 (ゲスト)
4. 皆出席顕彰
36ヶ年 本岡三千郎君
16ヶ年 中村實博君
5. 婚記念日祝い (敬称略)
2日 的場晴次
26日 向峠仁志
6. ニコニコボックス
金沢東RC 高桑幸一君
本日、お話をさせていただきます。
辻君、男網君
高桑氏を講師にお招きして。お話、楽しみにしています。
畠君 尊敬する、高桑幸一さまをお招きして、楽しみにしています。
大村君 無二の親友、故高桑健二氏のご子息、幸一さんのお話を拝聴させていただきます。
本岡君 36ヶ年皆出席顕彰を受けて。
中村(實)君
16ヶ年皆出席顕彰を頂き、有難うございます。皆様に感謝申し上げます。
野村君 本日、向峠会員の司会の代理をさせていただきます。
合計 19,000円 (累計 630,000円)



第2023回例会

6月16日(木)晴れ/12:30～13:30 [松魚亭]

1. 講話
北陸中日新聞北陸本社 論説委員
山本義之 氏
「社説 あれこれ」
2. 出欠
出席 32名 欠席 17名
出席率 69.56% ビジター 3名
3. 来訪者 (敬称略)
金沢西RC 澤田幸壮 坂本藩應
香林坊RC 池田義則
4. ニコニコボックス
金沢香林坊RC 池田義則君
お陰様で何とか、石川県内33クラブ全てメーキャップ完了できました。お世話になりました。
辻君、男網君
本日の講師に、山本氏をお迎えして。お話、楽しみにしています。
畠君 山本先生の講話、楽しみにしています。講師例会最終です。二年間ありがとう。
森君 親友の山本義之氏を、講師にお招きして。
松本君、中村(實)君
畠さん、企画委員長として二年間の長期にわたり、ご苦労様でした。感謝々々…
越田君 初孫が産まれました。大変、嬉しいです。当家は男系なのか、私の子供は三人とも男でしたが、生れて来た孫も男の子でした。
佐賀君 オーストラリアで、アイアンマン・ケアンズの、フル・トライアスロンに参加し完走しました。スイム3.8キロ。バイク180キロ。ラン42キロを、合計15時間丁度。苦しさを楽しんできました。
合計 17,000円 (累計 655,000円)



第2022回例会

6月9日(木)晴れ/12:30～13:30 [松魚亭]

1. ミニコンサート
バイオリン 浅香京子 氏
フルート 山下共子 氏
2. 出欠
出席 30名 欠席 19名
出席率 65.21% ビジター 2名
3. 来訪者 (敬称略)
金沢RC 山口真樹
金沢西RC 辻 卓
4. ニコニコボックス
石川第一分区ガバナー補佐 辻卓君
ガバナー補佐として、サイトの公式訪問となりました。皆様のご協力で、無事役目を終えられそうです。
辻君、男網君、畠君
浅香、山下氏をお迎えして。ミニコンサート楽しみにしています。
辻君、男網君
辻ガバナー補佐を例会にお招きして。まだ少し任期が残っていますが大変お疲れ様でした。
合計 8,000円 (累計 638,000円)



第134回 ゴルフコンペ成績

平成28年6月23日(木) [片山津GC 加賀コース]

		O	I	G	H	N
優勝	吉井 清	49	49	98	22	76
準優勝	中田 修子	51	45	96	20	76
第3位	安宅 雅夫	43	42	85	8	77
第4位	中浦 洋昭	52	50	102	25	81
第5位	馬場 邦彦	60	46	106	25	81
第10位	安宅真由美	51	47	98	15	83
B B	松本 範夫					
辻利陽会長杯	水巻啓光					
ニアピン賞	安宅真由美(2)、山上、男網					

講話予定

- 7月21日(木) 会員 丹羽雅治君
- 7月28日(木) ガバナー公式訪問
- 8月4日(木) 納涼夏祭り 松魚亭にて
- 8月11日(木) 祝日に付き休会

●会長/松本 範夫 ●会長エレクト/佐賀 務 ●副会長/内堀 茂
●幹事/中川 茂樹 ●副幹事/中浦 洋昭 ●会長監督/野村 千秋 ●会計/男網 大介
●クラブ会報委員長/中村 實博

●会員数/49名 ●クラブ設立/昭和48年10月3日
◎例会日/木曜日 12:30～13:30
◎例会場/松魚亭 金沢市東山1-38-30 TEL:076-252-2271 FAX:076-252-2273



ROTARY CLUB OF KANAZAWA-NORTH

金澤北ロータリークラブ



発行 2016.7.14thu

No.923

事務局/金沢市上堤町1番15号 金沢上堤町ビル3階
TEL:076-222-2525 FAX:076-224-2882
E-mail:k-kitarc@angel.ocn.ne.jp
HPアドレス:http://www.kanazawa-north.jp



浅野川夕景「白糸川床」



ロータリーを楽しもう

会長 松本 範夫

さかのぼること28年前（故）鈴木 透会員より金沢北ロータリークラブに入会のお誘いがありました。大変に困惑し、金沢東ロータリークラブの兄と、金沢西ロータリークラブの兄に相談いたしました。二人とも曰く、金沢北ロータリークラブは個性豊かな人が多く、その中で人格形成ができるのであればと入会を勧められました。

入会させていただいて28年、なるほどと納得のロータリー生活で、自分なりに楽しませていただいています。

（故）木島先生（講道館九段）の柔道の話、（故）中谷 栄治会員の華麗なるお座敷芸の話、その他、様々な芸術分野での知識人の卓話等を拝聴し、意義あるロータリー生活を送ってまいりました。

この度、はからずも会長を拝命するにあたり、「ロータリーを楽しもう」をテーマとして挙げ始動する覚悟です。その為には、クラブ活性化に向けて会員数を60名ほどに増員したく思います。あと10名2年から3年かけて達成しましょう。達成の暁には、会員相互の連携、友愛によって充実感のあるロータリー活動ができることと信じています。

最後に大先輩（故）柴田 三郎会員の「ロータリー信条」

- ◎うそ、偽り、無理はないか
- ◎正々堂々筋が通っているか
- ◎善意と友情に徹しているか
- ◎世のため人のためになるか

不易流行の言葉があります。

ロータリーの理念は踏襲しつつ、今の時代に合ったものに変えていきたいと思えます。これが、私たちの責務であり、ロータリーへの恩返しでもある。世界中の光が当たらないところへも光を当て続けられるロータリークラブを目指したいものであります。



幹事就任にあたって

幹事 中川 茂樹

このたび、松本会長のもと幹事という大役を拝命しました、中川です。

金沢北ロータリークラブに入会させていただいて、8年目になりますが、入会する以前は、歯科医師という職業上、他業種の方々との交流もあまりなく、極めて狭い世界の中で、歯のことばかり考えておりました。しかし、金沢北ロータリークラブに入会させていただき、先輩会員の皆様から多くを学ばせていただき、なんとか今までロータリアンを務めることができました。しかし、幹事という大役を全うするには、まだまだ若輩者だと今でも思っています。

松本さんから、幹事のお声を頂いたとき、二つ返事で了承させていただいたのは、先輩会員の皆様へ恩返しができると思ったからです。

現在の金沢北ロータリークラブは「会員数の減少」や「会員の若返りの遅れ」「幽霊会員問題」など様々な課題があります。今一度、ロータリークラブという場が少しでも有意義で、楽しい場所となるよう、松本会長を精一杯サポートしていく所存です。

また、皆様には、私の家庭事情について、心配ばかりおかけしまして、申し訳なく思っております。今しばらく、温かい目で見ていただけると幸いです。

1年間金沢北ロータリークラブの幹事として、気を引き締めて頑張りますので、皆様のご指導を頂けたら幸いです。

2016-2017 RI 2610 地区石川第1分区 B ガバナー補佐

会員 吉井 清

年ごとに色々なめぐりあわせを繰り返して年を取ってゆくのですが、このたびはクラブのご推挙を頂きガバナー補佐を務めさせていただくことになりました。奉仕と自己研鑽の為の良い機会をお与え下さいました皆様のお心に、有りがたく感謝申し上げます。 これからの1年間ガバナーの意を汲み地区運営機能の一つの歯車として、またガバナー事務局と担当クラブとの潤滑油の役割を担うことが出来るよう、努めてまいりたいと思っています。

人は十人十色、人それぞれの想いをもち、個性をもっていますがロータリーに対する思いや主張もそれぞれです。「群象を撫す」は仏教の説話としてよく語られますが、目の見えない何人かの人がそれぞれに象に触れてみて、ある人は象の耳に触って象は大きな団扇のようだといい、ある人は象の尻尾をつかんで象は縄のようだと言って互いに譲らないという話です。それぞれの主張は間違いではないのですが象の全体像、本当の姿をとらえてはいません。みんなでもっといろいろ触ってみて、それぞれが頑なに言い張るのではなく、しっかり話し合えば象の姿が捉えられるかもしれせん。

岡部一輝ガバナーは「語り合おう ロータリー」を年度テーマとしています。フランクにまた真摯にロータリーを語り合い、語り尽す年度ではないかと思っています。ロータリーの単年度主義は、事業の継続性の点から問題視する見方もありますが、その年度としての方向を定めて、RI会長や地区ガバナーの個性に従い活動することは大いに意義のあることだと考えています。岡部一輝ガバナーが示された年度テーマ「語り合おうロータリー」に呼応して、IM（都市連合会）の遂行をサポートする中で、潤滑油の役割を果たしたいと考えています。

私たち日本人はシカゴで生まれたロータリーの理念を、翻訳と言うスクリーンを通して受け止めています。翻訳は絨毯の裏側を見るようなもの、すべての言葉はもれなく綴られているのですが、どこか物足りなさを覚えるのが常です。私達は言わば異文化の中に育ったロータリアンですが、日本に育った私たちにはロータリークラブの理念を読み解くことの一つの手立てとして、東洋・日本の智慧があるのではないかと考えています。翻訳文の行間を東洋的な智慧で補い、真摯な語らいを試みる中に、気が付いていなかった本物の何かが生まれるのではないかと期待しています。

ロータリーの歩み①

2680 地区 PDG 田中 毅



敷石を敷き詰めた路地裏の小道から反れて、薄暗い下り階段をとんとんと降りていくと、重厚な樫の扉が正面を遮ります。ノッカーをこつこつと鳴らすと、小窓が半分開いて、当人であることが確認されると、ドアマンが重たい音を立て扉を開きます。

「いらっしゃいませ。お待ちしておりました Sir！」店内は葉巻の香りが漂い、まだ禁酒法が敷かれる前のこととて、あちらこちらのテーブルでは大きなジョッキを傾けて談笑する姿が見られます。語られているのはもっぱら商売の話。「誰かさんが生糸に投資してなんぼ儲けた。」とか、「誰かさんが株で幾ら摩った。」とか「店を広げたいので誰か投資してくれないか。」といった話が殆んどです。

女性の客はおらず、ビールや食事を運ぶウエイトレ

スだけが目立っています。そんな喧騒の中で、リーダーらしき男がおもむろにガベルの前に立ってハンマーをこつこつと叩いて開会を宣言します。「只今より例会を開催する。」

これが初期のロータリーの例会の姿です。当初は会員の職場を回って例会を開き、昼食に手間取って遅刻した会員がでたことから、どうせ集まるのだから共に食事を摂ってゆっくり語り会おうと、幾つかのレストランを会場に選んで回り歩いて、最後にチャーマン・ホテルに落ち着いたという記録が残っているので、この話は決して作り話ではありません。

当時のアメリカでは母国のヨーロッパを真似たクラブが数多く作られ、ポール・ハリス自身もブレスマン・クラブや、後日ジーン夫人と知り合うきっかけを作ったプレーリー・クラブなどかなりの数のクラブに属して余暇を楽しんでいたと言われていました。そんな中で、多くの人が集まって親交が深まったらどんなに良いことだろうと、単純な考えで作ったのがロータリークラブでした。

